

「知事とみんなの愛顔でトーク」における意見・提言の県施策への反映事例

【R2年度】

年度	地方局	テーマ	意見・提言の概要	県施策への反映状況
2	全県域 (松山市)	情報発信としての県のユーチューブの活用	<p>愛媛県庁の公式ユーチューバーアカウントについて、プロフィール画像やアカウント名が検索しにくい、みきゃんをプロフィール画像にするなど工夫ができる。また、愛媛県庁ホームページからユーチューブアクセスが、わかりやすいところがないが、簡単にできることが必要ではないか。</p> <p>また、「スゴ技データベース」の企業やコロナで不況の業界が企業の方から宣伝の動画を作成し、県庁の公式アカウントから配信してはどうか。</p> <p>知事から、 ・大変おもしろい提案で、担当部署（広報広聴課）の若手職員が受け止めてなんか企画してくれるんじゃないか。広報については、まだまだというところもあるかと思うので、担当課長の御意見を、 と指示。 広報広聴課長から、 今年度からユーチューブのほか、LINE、フェイスブック、ツイッターについて、県の公式アカウントを開設し、中でもLINEを活用した取組みに力をいれている。いただいた柔軟な発想も取り入れていきたいので、持ち帰り検討したい。 旨回答。</p>	<p>YouTubeのアカウント名を「EhimePref」から「愛媛県公式チャンネル」に、また、プロフィール画像を「愛媛県」（文字）に変更し、YouTubeの動画検索で「愛媛県」をヒットしやすくするなど、利便性を向上させた。</p> <p>【企画振興部】</p> <p>（一部検討中） 県では、優れた技術・製品を持つ県内中小企業の販路開拓を支援するため、H27年度に、県内企業のPR動画を作成し、国内向けに日本語版を、海外向けに英語版を作成して販路開拓ツールの1つとして活用している。 H28年度には、企業の同意が得られた動画については「愛媛のスゴ技」としてユーチューブにアップロードしており、多いものでこれまでに1万回以上再生されている。 また、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、受注の減少や大型展示会が中止となったことから、苦境にあえぐ県内企業の優れた技術・製品をPRする場として、スゴ技データベース上にバーチャル展示会場を作成し、「建築・建材」及び「農業技術」の2部門において、それぞれ10社ずつ出展中（～令和3年3月31日迄）。 企業ページでは、1社ごとに3分程度の動画を新たに作成してページ最頭部に配置するなどして、自社の技術・製品の詳細を展示しており、同じ業種を販路開拓先として見込んでいる複数の県内企業をプロモーションすることで、効率的に宣伝し、成約に繋げられるよう支援する。 なお、現在のスゴ技動画はH27年度に作成したものであるため、更新の段階で県公式アカウントでの発信を検討する。 【経済労働部】</p>
	南予 地方局 (内子町)	航空レーザー計測データの活用について	<p>災害場所の計測をするということを得た航空レーザーのデータについて、オープンソース化できるデータを活用されるか。</p> <p>知事から、 ・オープンソースのデータについては、現課でないとはわからないこともあるので、どれだけのものができていてどういうルールで提供できるのか、改めて。 と指示。 八幡浜支局森林林業課長から、 現在データの解析を進めており、今年度中に地形のデータの解析と森林情報の解析が行われ、来年度からは、使えるようになる。地形については、国土地理院並みにオープンに使えるようになる。森林情報については、所有者情報等の個人情報について取扱いの注意事項があるが、それらも含めて、市町や県などの行政をはじめ民間の事業者の方も使える仕組みを今整えているところ。 と回答。</p>	<p>航空レーザー計測データ解析の成果は、地域森林計画書等取扱要領に基づき、市町、森林組合等の森林林業関係者に提供する。</p> <p>なお、南予地域の森林林業関係者を対象に、航空レーザー解析の実施状況や成果の取扱いについて、説明会を開催し周知済み。</p> <p>【農林水産部】</p>
	東予 地方局 (新居浜市)	多文化共生社会の実現に向けてできること (①病院での多言語対応) (②外国運転免許の切り替えについて)	<p>①病院の手続きについて、特に救急病院とか産婦人科の手続きの資料、申請書とかの多言語版をつくらしてほしいという声。普通の健康診断の場合だったら通訳と一緒にいけるかもしれないが、緊急の場合は通訳の手配はできないので言葉が通じなかったら命に関わることなので、何とかしてほしい。</p> <p>②外国運転免許の切り替えの手続きをするのに、愛媛県では非常に時間がかかる。アポを取るだけなのに半年、6カ月はかかる。なんとかしてほしい。</p> <p>知事から、①について ・これは県立病院もあるので多言語化対応をと回答。 東予地方局長から、②について ・県警本部によると、8月を強化月間として取り組むよう進めており、週2日だったのを毎日実施することにして、6カ月待ちの外国人の方には1カ月から2カ月半で全て解消させるよう努力したいと聞いているので、今しばらくお待ちいただけたらということだった。 と回答。</p>	<p>①県立病院では、四病院全てに通訳専用デバイスを導入しており、緊急時であっても外国人患者への対応が可能である。 更に、外国人患者が多数来院する県立中央病院においては、厚生労働省のホームページに掲載されている「外国人向け多言語説明資料」を常時、備え付けることにより、各種手続用書類の多言語化に対応している。</p> <p>【公営企業管理局】</p> <p>②外国免許切替審査については、従来は火曜金曜の週2日、午前午後1人ずつの計4人の審査を行っていたが、8月から現在まで、平日の午前午後1人ずつ、週計10人にまで拡大して審査を実施している。 その結果、予約待ち人数は、当初100人程度から30人程度にまで減少し、予約待ち期間についても、6か月から1か月程度にまで短縮している。 今後も可能な限り、曜日を限定せずに審査を継続し、審査予約待ちの縮小に努める。</p> <p>【警察本部】</p>

【R元年度】

年度	地方局	テーマ	意見・提言の概要	県施策への反映状況
元	中予 地方局 (松山市)	長期欠席の子どもの支援と 貧困問題について (長期欠席の子どもの支援)	<p>学校に行けない子どもが一番多い貧困家庭、長期欠席、虐待とか、ネグレクト、そういった子育てに関する家庭の問題、環境の問題なども多く、それらを解決しながら時には学校と一緒に手をつないで、芽を摘んで、いじめを解決しながら学校復帰までを導いている。</p> <p>県ではどのような対応を考えておられるのか、質問させていただきたい。何かお手伝いできることはないか。</p> <p>(知事から、 ・貧困家庭、格差社会は確実に広がっている。これをカバーするのは、地方でもやらないとけない。子育て応援基金の活用を考えており、(財源を確保するために)どうすべきか、知恵を出してもらおうと、この7月に実行委員会を立ち上げる。 旨回答。)</p>	<p>官民共同による『子どもの愛顔応援ファンド(子ども子育て応援基金)』は、広く県民や企業・団体の皆様の参画を得て、本県独自の子育て支援策の展開や地域の子どもの支援活動の拡充を図るため、経済団体や福祉団体、行政等による「子どもの愛顔応援県民会議」で創設について御賛同をいただき、令和元年9月定例県議会における関係条例等の議決を経て、創設した。</p> <p>ファンドに寄せられる寄附金等は、県民会議での御意見を踏まえたうえで、令和2年度から、子育て世帯や西日本豪雨で被災された子どもへの支援、貧困や不登校など様々な問題に直面している子どもの居場所づくり、子どもを支える地域の活動を応援する事業等に活用していく。</p> <p>【保健福祉部】 平成28年に成立した「教育機会確保法」において、不登校児童生徒への多様で適切な教育機会の確保について示され、適応指導教室やフリースクール等、学校以外の場における学習や活動の充実を図ることは、不登校児童生徒の将来にとって有意義であると考えられる。 そこで、県教育委員会では、民間のフリースクールに対する支援及び適応指導教室を含め、そこに通う児童生徒への、よりきめ細かな支援の在り方について検討している。 【教育委員会】</p>
	中予 地方局 (松山市)	避難所開設時における女性消防団の活動について (女性消防団との連携強化)	<p>消防団は、自分たちの町は、自分たちで守るという理念のもとに活動しているが、大きな災害がこれからも危惧されるので、東、中、南予それぞれ活動はしているが、お互いの連携、意見の交換会がない。連携での勉強会、課題に対する連携とか、話し合いを持てるものがあればいいかなと思う。</p> <p>(知事から、 ・指摘事項、検証事項に入っていた。今年度新規事業の中で消防のカウンターパートを決めるという議論をすることになっている。この中で行政の枠組みとは別に、消防の面で一番効果的なカウンターパートも議論になっていくと思う。 旨回答。)</p>	<p>今後、女性消防団の連携について、女性消防団員確保対策の一環として、県下20市町の女性消防団員が一堂に会する情報共有会の開催を検討している。 【県民環境部】</p>
	南予 地方局 (鬼北町)	林業教室の学校教育における要望・県産材の販売について (県産材の表示について)	<p>愛媛県産の材木、スギやヒノキなどを使って棚を作ったりする時に、どこで買ったらいいか、愛媛県の中ではなかなかない。</p> <p>県民が簡単に買って棚などを作ることにより、愛媛県産材の良さを感じていき、大きな家を建てるときも県産材で、といった具合に発展していったらいいと思い、中間のところ、販売店などを県と作っていったらいい。</p> <p>(知事から ・県産材という表示はいいことだと思うので、(表示を)投げかけてみたらどうか。 と指示、 (南予地方局産業経済部長) ・検討する。 旨回答。)</p>	<p>要望を踏まえ、県産材製品を取り扱っている県内ホームセンターに県産材表示を働きかけた結果、3社において、県産材の表示が実施された。 【農林水産部】</p>

年度	地方局	テーマ	意見・提言の概要	県施策への反映状況
元	南予 地方局 (宇和島市)	防災・減災対策の取り組みへNPO団体の活動支援について (NPO団体等への活動支援)	自分たちの資金では活動に限界があるため、災害初動期に動きやすい体制づくりとして、助成とか、コミュニティ財団とか、いろいろな分野で活動していける市民団体をどう支えていくか、県としてどのように考えているか。 こども食堂にも関わっているが、複雑化している社会現象の中で、企業とか団体とか行政が共同して支えていく、また県として今後、持続していくために企業に働きかけをしていただいたり、こども食堂ネットワークのようないろいろな支えがあると嬉しい。 (知事から、 ・提案の内容としっかりとした運営体制であれば、新たな制度『子どもの愛顔応援ファンド(子ども子育て応援基金)』からこども食堂も含めて助成していく。スタートは来年からになる。 旨回答。)	民間資金等を活用したNPO等の初動活動経費の支援の仕組みや、災害ボランティアファンドの活用による市町社協を通じた支援の枠組み等については、社協やNPO等と検討・協議中。(検討中) 官民共同による『子どもの愛顔応援ファンド(子ども子育て応援基金)』は、広く県民や企業・団体の皆様の参画を得て、本県独自の子育て支援策の展開や地域の子どもの支援活動の拡充を図るため、経済団体や福祉団体、行政等による「子どもの愛顔応援県民会議」で創設について御賛同をいただき、令和元年9月定例県議会における関係条例等の議決を経て、創設した。 ファンドに寄せられる寄附金等は、県民会議での御意見を踏まえたうえで、令和2年度から、子育て世帯や西日本豪雨で被災された子どもへの支援、貧困や不登校など様々な問題に直面している子どもの居場所づくり、こども食堂を含めた子どもを支える地域の活動を応援する事業等に活用していく。 【保健福祉部】
	南予 地方局 (愛南町)	須ノ川公園の駐車場・景観整備について (須ノ川公園の駐車場整備について)	ウバメガシの植え込みが駐車場の西側にあるが、そのスペースを何とか駐車場に整備していただきたい。 (知事から、 ・木の伐採と駐車スペースは、その土地が国立公園の指定を受けているかどうかとか、私有地がどうなっているか、迂闊なことが言えない。 旨発言、 (南予地方局総務企画部長) ・ご要望の土地が、どこの土地か、また、その用途を駐車場として利用可能か、確認した上で改めて調べたうえでご相談、町も含めてさせていただく。 旨回答。)	駐車場については、植樹帯撤去・駐車区画整備を行う方向で、国立公園特別地域内における必要な許可手続等について環境省等と協議中。 【県民環境部】
	南予 地方局 (八幡浜市)	地域活性化のための広域的な高校生の活動について (全県の高校生サミットについて)	各地域の問題を解決するために、その地域に住む大人だけではなく愛媛県下の高校生が集まり、議論したり行動したりすることを行えばいいのではないかと。 そうすることで、高校生ならではのさまざまなアイデアが生まれ、人脈ネットワークを広げることができるのではないかと。また、このネットワークも将来にかけても人と人との結び付きという形で生きてくるのではないかと。 (知事から、 ・東・中・南予のブロック毎で何かを一緒にやるような話し合い、あるいはイベントも含めての形なら、県もバックアップできると思う。 ・県の既存の事業(文化事業など)に参画することも考えてみたらどうか。 と回答。)	東・中・南予の3会場で高校生による地域活性化ディスカッション等を「えひめスーパーハイスクールコンソーシアム」として、今年度開催した。 (日時・場所) 東予：令和2年1月28日(火)・西条市総合文化会館 中予：令和2年1月24日(金)・松山市総合コミュニティセンター 南予：令和2年2月4日(火)・西予市宇和文化会館 また、来年度以降については当初予算要求中。 【教育委員会】

「知事とみんなの愛顔でトーク」における意見・提言の県施策への反映事例

【30年度】

年度	地方局	テーマ	意見・提言の概要	県施策への反映状況
30	中予 地方局 (松山市)	安全のため自転車通学路にブルーラインを引くことについて (自転車通学路の安全対策)	本校は中等教育学校なので小学校から入学したての中学1年生が自転車で通学する姿を見てヒヤッとすることが多い。学校の立地が中央卸売市場に近く交通量も多く、特に裏門付近には分離した歩道もないので自転車道の整備をお願いしたい。しかし、用地の買収等を考えると長い時間がかかるので、松山市内のようにブルーのラインを引いたりとかすれば通行する自動車も自転車にもっと気を付けてくれるようになるのではないかなと思う。	平成25年に松山市自転車ネットワーク計画を策定し、各道路管理者が該当路線について、自転車道、自転車専用通行帯及び車道混在(矢羽根等を設置)の整備に取り組んでいるところであり、松山市においては、中心部から内環状線までのエリアを優先し、自転車走行環境整備を行うこととしている。 今回、要望のあった県道和気衣山線及び裏門から県道交差点までの市道については、今後の計画見直し時に計画区域に含める予定であるが、通学時には多くの自転車と自動車が輻湊し、危険な状況であるため、市、警察とも協議を行った結果、今年度中に車道路面に「矢羽根」と「自転車ピクトグラム」を設置することとし、31年2月上旬に設置が完了した。 【土木部】
	中予 地方局 (松山市)	外国人観光客の愛媛への誘致方法等について (「初めての海外旅行応援キャンペーン」の対象者の拡大)	海外の観光客はまず東京に来て、そこから地方都市である大阪、奈良、京都、広島まで行くが、そこから愛媛県に来る観光客がそこまで多くないと思う。まず一番近い広島から愛媛に気軽に来れるようにしたいと思うが、何か対策をすることはできるか。 (知事から、 ・海外からの直行便や成田・関西とを結ぶLCCを就航させる戦略により、ここ数年で成田-松山便、関西空港-松山便、平成29年11月からLCCのソウル-松山便が就航しており、ソウル便はほとんど韓国からのインバウンドである ・愛媛の若者にも、気軽に行ける料金体系のLCCに乗って、積極的に海外を経験してもらいたい ・高校生も「初めての海外旅行応援キャンペーン」の対象となるよう検討する 旨回答。)	松山空港利用促進協議会(事務局:愛媛県国際交流課)では、県内在住の若年層(18歳から29歳まで)の方を対象に、松山空港国際定期便を使って初めて海外旅行する場合、旅行代金が5,000円引きとなる「初めての海外旅行応援キャンペーン」を実施し、若い方々のパスポートの取得を後押ししてきた。 松山-ソウル線が増便となったことなどを機に、平成30年11月からキャンペーンの対象者を小学生以上に拡大するとともに、松山空港発着の国際チャーター便も対象とした。高校生や大学生などパスポートをまだ持っていない方には、家族旅行や卒業旅行などで活用するよう呼びかけている。 【経済労働部】
	東予 地方局 (西条市)	教育施設の空調等環境設備の整備について (県立高校等の空調設備の整備)	7月より暑い日々が続き、熱中症患者も多く病院に搬送されているというニュースが連日報道されている。また、西日本豪雨の被災地の復旧も緊急の課題だと思う。災害が起こったときの避難所として、高校の体育館が割り当てられているところも多いと思うが、夏や冬は被災者が快適に過ごせる場所だとは到底思えない。そこで、教育施設の環境設備についてどのような話し合いが進められているか教えてほしい。 (知事から、 ・県立学校については、特別支援学校の空調設備を優先して整備する予定 ・県立高校については、できるだけ100%に近づくよう検討していきたい 旨回答。)	県内の県立学校等へのエアコンの設置予定は次の通り。 <特別支援学校> 今年度中に、普通教室・特別教室ともにエアコン設置率が100%となる予定。 <高校及び中等教育学校> 平成30年9月1日現在、普通教室へのエアコン設置率は76.4%で全国32位。 今後、まずは普通教室へのエアコン設置率100%の早期実現に向け、整備方を検討している。 (参考) <小中学校> 30年9月1日現在、県内小中学校普通教室の空調設置率は34.1%で全国30位。 全国的な猛暑への対策として、文部科学省が今年度「ブロック塀・冷房設備対応臨時特例交付金」を創設しており、市町の教育委員会には、この機会に事業を推進するよう助言・情報提供しているところ。 現時点では普通教室への空調設置が完了していない市町の全てが、空調設置事業を予定しており、県全体での設置率は大きく伸びるものと見込まれる。 【教育委員会】